

岡山市内のオーダーメード靴製造販 売の会社が、薪しいタイプのインソ (中敷き)を開発しました。記事を 読んで質問に答えましょう。

きじ 記事①

## 多くの人に利用してもらおう

サポーターで固定し、屋内でも利用できるインソール

本金1千万円、従業員46人。売上中山靴店は1950年創業、資

## で足裏に固定 夕

かとから土踏まずまでを覆い、足インソールは合成樹脂製で、か 匠登録を出願している。 効果が見込めるとして、特許と意 足にかかる負担を減らしたりする 靴下のように履いて足裏にフィッ ポーターのポケットに差し込み、 裏のアーチを支える形状。 専用サ トさせる。歩行を安定させたり、

負担軽減と転倒防止

せられているといい、在宅時間の 話している。 た製品。今後も利用者の声を聞き 中山社長は「1年以上かけて作っ 増加による需要も見込んでいる。 機会が減り、「せっかく作ったの ながら改良を重ねていきたい」と た。新型コロナウイルス禍で外出 になかなか使えない」との声が寄 メードで約2万人に提供してき 入れて使うインソールをオーダー

2色を用意する。8800円。クラ で、サポーターは黒とベージュの 売し、一般販売は来年5月の予定。 ウドファンディング(CF)仲介サ イト「マクアケ」で26日まで先行販 中山靴店はこれまで、靴の中に エニー」。S、M、Lの3サイズ

が**新タイプのインソールの特徴と** と第2段落に注目 だい だんらく (第1段落) して説明しましょう。

ールが開発されたか、記事①の 第3段落から読み取りましょう。



きじ 記事**②を読んで、** 社長がインソ - ル開発の意志を固めたきっかけ について感じたことを問りの人と <sup>はな</sup> 話しましょう。

きじ 記事2

でも利用でき、足の負担軽減や高齢者の転倒防止につながるという。(中浜汐里) 足裏に固定する新タイプのインソール(中敷き)を開発した。 靴を履かない屋内

オーダーメード 靴製造販売の中山靴店(岡山市北区丸の内)は、サポーターで

靴を履かなくても使える

時(99)=が自宅で転倒。頭 を打って入院し、数日後に 中山憲太郎社長の亡き祖母 た祖母・木村英子さん=当 の思いがある。 昨秋、東京で暮らしてい

れまでは漠然としていた が、祖母の死をきっかけに アイデアを温めていた屋内 に浮かんだのが、以前から れば…」。悲しみの中で頭 での転倒を防げる製品があ かなわなかった。 家庭内 振り返る

開発の意志が固まった」と ダイヤ工業と岡本製甲だっ 用のインソールだった。「そ 以前から互いの商品を扱っ 共催したりして交流のある たり、足の健康セミナーを 製造も専門外。頼ったのが、 術は自社になく、量産品の 装着できるサポーターの技 とはいえ、インソールを

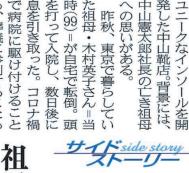
祖 母の死で意志固める

みん

なの力を合わせて

しさを形にできたね

☆の数は問題の 難易度を表してい ます。



も、葬儀に参列することも

博士でドイツの靴職人「ゲゼレ」

量産品とすることを決め、保健学 と、同社のインソールでは初めて

の国家資格を持つ中山憲太郎社長

(43)が型を製作。 靴メーカーの岡

(倉敷市茶屋町)に製造を

品製造のダイヤ工業(岡山市南区 委託し、専用サポーターは医療用

ロ新田)が手掛けた。

商品名は「ドクターインソール

祖母の死をきっかけに新 製品を開発した中山社長

とも快く協力してくれたと 炊事や洗濯など立って行う た。思いを伝えると、両社 ってもらいたい」と力を込 る。一人でも多くの人に使 家事の際の負担軽減も図れ 中山社長は「足元を支え、 (中浜汐里

12日付、山陽新聞地方経済面